



・発行・  
京都障害者  
スポーツ会  
振興

題字 芝田 徳造

# 障害者スポーツ

## 指導者研修を受講して

### 障害者スポーツ 指導者研修を受講して

夜久泰典

私はこれまで、一般企業の社員として仕事で数名の障害者と接したことがある程度でしたし、障害者スポーツに関わったこともほとんど無かったのですが、今回縁あり「障害者スポーツ指導者研修初級」に参加させていただきました。それゆえ、今回の研修では初めて勉強させていただくことばかりでした。毎回障害内容の違うご専門の講師から講義をいただき、障害者の多様性を知りましたこと、さらに専門性が重要であり重要である

など多くを学びました。その中で、指導者として心に刻んでおくべきと印象に残ったことを二つご紹介いたします。

一つ目は、同じ障害の障害者は一人もいない、です。講師のお言葉に、「毎年初めて指導する障害者に接した時、指導者として初心者であることを痛感します。いつも自分は初心者であることを心に命じています。」がありました。

同じ障害区分でも一人一人違う。そのため、指導方法もサポート内容も一人一人変わっていくとのこと。

にも注意して障害者を知り、支援することの重要性を教えていただきました。もう一つは、実技講義で新しいスポーツを知ったことです。

障害内容によってルールを変化させたり、新しく生み出された競技を知りました。そして、それらの競技は、面白く、楽しく、エキサイティングでした。健常者、障害者に限らず楽しめるのに、世間一般にまだ知られていない競技があり、もったいないとも感じました。

研修を受講したとはいえ、理解した知識も実技もほんの触りですが、今後自分の生活の中で少しずつでも専門性を深め、経験を積んで、スポーツ指導者、日常の障害者支援に役立てて行きたいと思っています。末尾になりましたが、研修では、ご多忙の中、私どもに時間を割いていただきました講師、事務局の方々にお礼申し上げます。ありがとうございました。

### スポーツを通じて

#### 人との出会いを大切に

柏分千晶

今回障害者スポーツ指導者研修会に参加させていただき、私にとつて有意義なものになりました。知らないことがたくさんあって、改めて京都の障害者スポーツのすばらしさを再確認させてもらいました。

私が障害者スポーツを初めて知ったのは陸上大会でした。憧れの西京極陸上競技場で走れる夢のような大会でした。選手二名、付き添い二名の四名で参加し、競技はあつというまに終わりました。車イスの競技やスラロームを見て、ただただ感動したのを覚えています。

今回も実技で、スラローム体験をさせていただきました。見たのとやるのでは大違いでした。ハンドボールやゴールボールも実際やらせてもらおうと車イスが思う様に動かせず、ゴールボールでは、自分がある場所が分からず、経験者の方に助けていただきました。いつも練習されていた皆さん、いつも簡単には動いておられる姿をみて、改めて日頃の練習の成果だと思いました。

(裏面へ続く)

行事予定	3月	13(火)	丹波障害者のスポーツのつどい	丹波自然運動公園	来月のつどいは  4 / 8  第2日曜日
		17(土)	宮津障害者スポーツのつどい	宮津市民体育館	
		18(日)	障害者水泳のつどい	伏見港公園	
		25(日)	城陽障害者スポーツのつどい	サン・アビリティーズ城陽	
京都障害者スポーツ振興会ホームページ TEL/FAX 075-712-7010 <a href="http://web.kyoto-inet.or.jp/people/spo-shin/">http://web.kyoto-inet.or.jp/people/spo-shin/</a> (2017年11月17日に一部更新)					

(表面より)

机上研修も様々な障害分野から講習していただきました。障害者福祉では、障害者差別がなくならない現実にも目をむけ、障害者差別解消法についても詳しく教えていただきました。手話や指文字も貴重な体験でした。障害についても、三障害に分けて研修させてもらい、わかりやすい研修でした。ボランティアアソシエーションの奉仕活動のイメージを持ってしまっていた自分を反省し、ボランティア活動のセルフチェックを時々見直したいと思います。

今回の研修で、どんな障害があってもスポーツはなくてはならないものだと再確認しました。スポーツ概論で、「スポーツの楽しさが人生を豊かにする」まさしくこの言葉にあると思います。研修最後に参加させてもらった「つどいは、参加された方を笑顔にできるすばらしさつどい」でした。今年度で、五三二回続けられていることに、さらにびつくりでした。思い思いにスポーツを楽しみ、ルールも参加されている方にあわせ、大きな体育館

で思いっきり身体が動かせざる取組が、皆さんの笑顔に繋がっていました。一人一人の人生を豊かにする大きな役割の「つどい」に今回参加させてもらえ、自分にとってとても貴重な経験になりました。城陽市や丹波でも実施されていると聞き、京都の北部でもこのような「つどい」ができたらいなと思ってきました。またつどいに参加させてもらいさらに勉強したいと思います。

最後に研修でお世話になった皆様、本当にありがとうございました。今回いただいた資格を、今後は地域の活動や各スポーツ大会でのボランティアとして、頑張っていきたいと思えます。また皆さんとお出合いのできる日を楽しみにしています。

障害者スポーツ指導者研修を受講して

田村 充

平成29年11月25日から30年1月14日まで平成29年度京都府障害者スポーツ指導者研修会がありました。11月25日の研修初日は用事があったので受講

できませんでした。2月18日に亀間で研修があると聞いていたので、亀岡で卓球バレーとゴールボールの研修を受けました。ゴールボールは上手くできませんでしたが、最後まで研修を受けました。

私は以前に障害者スポーツ指導者研修を受講してボランティアを行っていました。日本障害者スポーツ協会の更新手続きを行っていなかったため、指導者協議会と相談して再度初級研修を受講することにしました。

☆☆☆☆

第29回全国車いす駅伝

競走大会出場チーム

(チーム番号 チーム名)

- 43 埼玉
- 41 東京
- 40 長野
- 39 福岡
- 33 静岡
- 28 愛知
- 27 京都A
- 26 大阪
- 22 兵庫
- 21 岡山
- 20 高知
- 17 福岡A
- 13 佐賀
- 11 熊本

【情報】アンケート分析 『障害のある人の母親』という経験

公益社団法人京都市身体障害児者父母の会連合会では、2017年9月に開催された『第50回全国肢体不自由児者父母の会連合会全国大会』の京都大会開催にあたり、近畿六府県の会員（障害のある人の親、とりわけ母親）よりアンケート調査を行い、その分析を社会学者・東京大学名誉教授の上野千鶴子先生と分析チームに依頼しました。

その結果は『障害のある人の母親という経験』として当父母の会のホームページで公開されています。(検索↓「京都市父母の会」から、画面左下に入口があります)

麵屋とも

開店のお知らせ

平成29年度日本障がい者スポーツ協会受賞特別功労賞 金子知拓 副会長

開店日 2月20日(火) 午前11時30分

場所 左京区田中里ノ内34 (東大路通 叡電元田中駅 踏切南側)

メニュー中華そば(醤油・塩)と鶏飯 ※駐車場はありません (近隣の有料駐車場利用) ※店内に段差はありません

これまで「障害のある子」「本人」に焦点があたり、とは多くても、その主たる養育者・介護者である母親には着目されることは非常に少なく、一人の親として「一人の親としての声」を分析されたこの報告からは様々な課題が浮き彫りにされています。関心のある方、ぜひご覧ください。